

令和2(2020)年度 年間事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス症の感染拡大により、4月末から5月にかけての事業の休所を始めとして、一年間を通し、その対応・対策に多くの時間を費やした。そのため、各事業所・職員は大きな努力を払っているが、当初の事業計画通りに事業が進まず、達成できなかった項目も少なくなかった。また中期事業(5ヵ年)計画の初年度でもあったが、計画を次年度以降に見直す分野もあった。

① 新規事業、事業拡大等

仲間・家族の願いに応えると共に、経営の安定化を見据え、事業拡大計画を作成し、推し進めてきた。

- ・ 新グループホーム(GH)「すまいる」の建設が8月に完了し、9月から開所し、10名の仲間の入居が始まった。ショートステイ事業については新型コロナウイルス感染拡大防止のため開始を延期した。
- ・ GH「ひまわり」の改築が、土地所有者のオーナー方式で行うことが決まり、2021年度中に改築を行うということになった。GH「第2すまいる」建築とGH「ぐうぐうハウス」の改修については、引き続き検討していくこととした。
- ・ 就労支援事業B型「ここに」が、本法人のGHの夕食を担うことになり、GH「すまいる」は入居当初から、GH「ぐうぐうハウス」は4月から、「ひまわり」は、令和3年4月から配食を開始することになった。
- ・ 生活支援事業「こっから」、相談支援事業、地域課題に応える新事業等の展開は次年度以降の課題となった。

② 経営基盤の強化

法人事業継続と施設・設備老朽化改善資金確保のために、経営黒字化を進めた。

- ・ 将来の大規模設備改修に備え、今年度も修繕費積み立てを行った。
- ・ 生活介護事業「こっから」は1名の利用者増員を行った。また、相談支援事業においても相談件数を増やす努力をした。
- ・ 今後の各事業の独立性を重視し、法人本部だけでなく、各事業所でも積立金を年間計画に入れる等の、事業計画に基づく予算編成の検討をすすめた。

③ 職場環境の改善

職員にとって働きやすい職場とするために、職員との話し合いを進め、改善を図ってきた。

- ・ 新しく管理者・主任会議を設定し、経営委員会と各事業の職員会議等が有機的につながるようにした。また、法人方針全体会議を年度当初に行い、職員全体で方針の確認と意思統一を図る場とした。
- ・ 情報共有をスムーズに行うために、ネット環境の改善、機器の導入などを行ってきた。また、情報共有、アクセスを進めるためのクラウドの導入を進めた。
- ・ 生活介護事業「こっから」で奈良県福祉・介護認証を取得した。
- ・ 事務強化・効率化のために、事務主任を置き、事務職員の業務分担を積極的に行った。
- ・ 職員の休日出勤、残業、休憩時間等の問題は引き続き検討課題として残った。

④ 施設、設備充実・改善・改修等の課題

事業拡大に伴う設備投資、施設改善を行った。

- ・ GH(すまいる)建設に伴い、生活支援センターの事務所を、GH(すまいる)内に移転し、元の事務所を本部機能の充実と相談支援事務所に再編した。
- ・ 就労支援事業B型「ここに」のGHへの給食事業開始に伴い、大型冷蔵庫やフライヤー等の設備整備を行った。
- ・ 生活支援事業「こっから」のエアコン改善、前広場整備等は先送りとなった。

⑤ 人材の適正配置、確保、養成

福祉人材不足の中で、職員の確保・養成は、事業展開・継続の必須課題であり、法人として力を注いできた。

- ・生活介護事業「こっから」に非常勤職員4名(内2名については次年度に兼任常勤職員として採用)、「ふゅーちゃー」GHに非常勤職員7名を採用した。また、給食事業開始に伴い、就労支援B型事業「ここに」に1名非常勤職員を採用した。
- ・県の認証制度取得ということも踏まえ、初任者・中級・管理者研修などのこれまでの在り方や内容を論議した。具体的には、来年度より実施することとした。
- ・サービス管理責任者研修、相談支援従事者研修や外部の研修会に、職員を積極的に派遣することを決め、行ってきた。
- ・系統的に採用を行うために、委員会を設置した。その機能を発揮するのは、今後の課題となっている。

⑥ 地域づくりや他団体との連携

コロナ禍で、地域や他団体との共同や連携の在り方が難しくなっているが、様々な工夫を行い、追求してきた。

- ・地域との連携でもある「クリコミ」「ここに市」等は、一時的には休止したが、感染対策を行いながら、実施してきた。「こっから祭」については中止とした。祭の新たなあり方を考えなければならない。
- ・新GHの地域貢献ルームについては、現在のところ使用を中止しており、使用の在り方も今後の検討課題となっている。
- ・外部団体については、法人との関係を見直し、整理を始めている。外部団体への個人派遣についても論議し、一定のルールを作成した。
- ・市内の高齢者事業所と連携し防護服の作成(1,000着)を仲間の仕事として取組み、感染者が発生した福祉事業所等に無償提供した。

⑦ 新型コロナウイルス感染症への対応

1年間を通して拡がった新型コロナウイルス感染に対し、仲間や家族、職員の生命と健康を守るため、感染状況に応じて様々な対応を行った。

- ・奈良県市行政や奈良市保健所に対し積極的に要望行動や情報交換を行い、対策に努めた。
- ・家族への情報周知や協力要請を定期的に行い、事業所休所や在宅支援、時間短縮、外出の自粛など、法人一体となって感染予防や拡大防止に取り組んだ。
- ・各事業所ごとの感染防止のための環境整備と、行動マニュアルの作成、防護グッズの備蓄などを行った。

■コミュニティワークコッから 事業報告

1. 施設の概要

- ① 施設名 コミュニティワークコッから
- ② 所在地 奈良市古市町529-4
- ③ 開設日 平成14年4月1日
- ④ 施設種別 生活介護
- ⑤ 定員 36名
- ⑥ 建物等 敷地面積1,323㎡ 規模及び構造597,20㎡(1階鉄筋平屋建て)
- ⑦ 作業内容 食品製造(パン・クッキー等/とうふ) 紙すき・印刷 軽作業・配達・活動
- ⑧ 施設職員 30名(委託職員を除く)
常勤正規/20名 非常勤/10名

2. 利用者の状況(2021年3月31日付)

- ① 利用者数 48名(男性23名/女性25名)
- ② 平均年齢 35.8歳(19歳~63歳)
- ③ 平均程度区分 4.79
- ④ 障害手帳 療育手帳A(40名)/B(7名) 身障手帳(4名)
- ⑤ 居住地 奈良市(41名) 大和郡山市(1名) 生駒市(1名)
- ⑥ 通所方法 単独通所 送迎バス利用 自宅送迎 家族送迎
- ⑦ 利用時間 9:30 ~ 16:00
- ⑧ 給料 日給制(個別給) 1000円 650円 400円 300円
賞与(年間1ヶ月)
4月上記日給制、5月一律3000円/月 6月~8月 3000円/月 4000円/月
9月~3月 3000円/月 6000円/月
- ⑨ 行事 季節ごとに実施 ※別項目参照
- ⑩ 負担金 実費負担/食費(減免措置有り)、旅行積み立て、自治会費
- ⑪ 自治会活動 週1回程度の当事者役員会

3. 施設運営

- ・どんなに重い障害があっても「働く権利を有する事を保障し、1人ひとりの「はたらく」を通じ人間的に成長、発達すること、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮せる地域づくりをめざす
- ・障害のある人が主人公として地域で暮らしていく拠点として、生活全般を支援する活動をする

4. 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月
営業日数	21	18	22	22	20
登録者数	48	48	48	48	48
総利用者数	944	807	1006	967	811
1日平均利用数	45.0	40.2	42.8	40.2	38.5
	9月	10月	11月	12月	1月
営業日数	22	23	21	22	21
登録者数	48	48	48	48	48
総利用者数	913	984	847	923	855
1日平均利用数	41.4	39.5	40	38.7	39.6
	2月	3月	平均	前年度比	
営業日数	20	23	21.3	92%	
登録者数	48	48	48.0	103%	
総利用者数	818	1026	908.4	101%	
1日平均利用数	38.8	38	40.2	101%	

5. 助成事業・寄付等

■イオンビッグ株式会社 様

イオン幸せのイエローレシートキャンペーンで、ビッグエキストラ大安寺店様よりギフトカードを寄贈していただいた。

■イオンリテール株式会社 様

イオン幸せのイエローレシートキャンペーンで、イオンスタイル奈良様よりギフトカードを寄贈していただいた。

■株式会社カーブスジャパン 様

株式会社清水商店カーブス事業部[カーブスアルプラザ木津店様・カーブスガーデンモール木津川店様、カーブスJR奈良店 様、カーブス奈良パワーシティ店様]、アドバンステクノロジー株式会社ウエルネス事業部[カーブスイオンタウン天理店様]より、フードドライブ活動として食材品・日用品を寄贈して頂いた。

■エンジェルルナ株式会社 様

エンジェルルナ株式会社様より水着素材マスク100枚を無償提供していただいた。

■きょうされん奈良支部様

- ・きょうされん奈良支部よりコロナ見舞金をいただいた
- ・きょうされんを通して、難民を助ける会の協力により、ジャパンプラットフォームの資金提供を受けアルコール自動噴霧器などの感染症グッズを無償提供していただいた

■両立支援助成金(新型コロナウイルス感染症小学校休業等対応コース)を受給

■令和2年「障害福祉分野のICT導入モデル事業」を受給

6. 事業活動

授産事業

	パン工房	喫茶・店舗	紙漉き	とうふ工房	リサイクル	下請け作業他	合計
事業収入	3,821,213	83,300	335,117	2,760,768	51,710	509,589	7,561,697
前年度比	48.0%	79.0%	57.0%	40.0%	56.0%	228.0%	48.0%
材料費	2,076,129	188,730	132,203	1,724,506	0	0	4,121,568
前年度比	56.0%	71.0%	58.0%	45.0%			52.0%
労務費	999,400		398,100	1,026,850	580,350		3,004,700
経費			1,562,696				1,562,696
減価償却費			359,628				352,476
支出合計			9,048,592				9,041,440
収支差額			-1,486,895				

事業販売

	売り上げ	粗利益	売上前年度比
夏季事業販売	1,024,367	174,321	80.0%
冬季事業販売	1,573,670	327,352	125.0%
バレンタインチョコ	198,590	37,334	86.0%
ホワイトデー	39,190	7,402	199.0%
合計	2,835,817	546,409	102.0%

出張販売

	内 容
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	新型コロナウイルス感染拡大によるイベント販売の中止(主催者側判断)および出張販売活動を自粛した為、当年度実績なし
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

定点販売

デリカフェびいぼ	火・木	とうふ
いっぼ	火・金	食パン
木のうた(奈良店・西の京店)	火・金	食パン、とうふ
call	水	とうふ

7. 行事等

各月行事・イベント

	内 容
4月	入所式
5月	
6月	避難訓練
7月	
8月	家族会役員会
9月	健康診断
10月	
11月	日帰り旅行(各班にて)
12月	クリスマス会 / 餅つき
1月	初詣(般若寺) / 書初め / 成人式
2月	映画上映(星に語りて) / 家族会役員会
3月	避難訓練

8. 見学・研修

施設見学・研修来所

日付	来所者	人数
7/17	個人 見学来所	1
8/24	奈良東養護学校高等部PTA 見学来所	3
8/24	個人 見学来所	1
8/29	個人 見学来所	1
9/1	個人 見学来所	1
9/15	個人 見学来所	1
9/24	個人 見学来所	1
9/25	個人 見学来所	1
10/20	個人 見学来所	1
11/11	個人 見学来所	1
1/15	異業種団体 見学来所	3
1/20	利用者後見人来所	1
2/22	奈良東養護学校高等部2年生保護者 見学来所	2
3/18	個人 見学来所	1
3/19	利用者後見人来所	1
合計		19

体験・実習

日付	来所者	人数
10/19	奈良東養護学校高等部(3年生) ～20日	1
11/17	奈良東養護学校高等部(3年生) ～18日	1
1/28	飛鳥中学校1年生交流体験実習 教材ビデオ撮影教員来所	1
3/15	奈良東養護学校(2年生)職場体験実習 ～16日	2
3/17	奈良東養護学校(2年生)職場体験実習 ～18日	2
合計		7

施設(内外)研修

日付	研修名	備考
6/20	法人職員全体方針会議	施設内
8/20	奈良県社会社会就労センター協議会 奈良県懇談会	施設外
8/29	法人職員全体研修	施設内
9/17	奈良市福祉計画策定会議	WEB
10/13	権利擁護ネットなら 研修会	WEB
10/21	財務管理研修(社会福祉経営全国会議)	WEB
10/27	奈良教育大学附属中学校人権学習 講師派遣	施設外
11/12	新型コロナウイルス感染症対策研修(心身連・奈良セルフ共催)	施設外
12/5	法人職員全体研修	施設内
12/9	労務管理研修(社会福祉経営全国会議)	WEB
12/19	新任職員研修会	施設内
12/21	情勢学習会(社会福祉経営全国会議)	WEB
1/8	介護労働安定センター研修会 講師派遣	施設外
1/14	財務研修(社会福祉経営全国会議)	施設外
1/18	和歌山県社会社会就労センター協議会研修会	WEB
1/19	経営セミナー(ICT導入)	WEB
1/21	財務研修(社会福祉経営全国会議)	WEB
1/25	報酬改定セミナー(社会福祉経営全国会議)	WEB
1/30	きょうされん経営管理者研修	WEB
2/12	奈良県障害者虐待防止研修・権利擁護研修	施設外
2/27	映画上映「星に語りて」	施設内
3/4	防火管理者養成講習 ～5日	施設外
3/16	奈良県障害者虐待防止研修・権利擁護研修	施設外

9. 地域との連携

- ①東市クリーンコミュニティ(月2回/第1、3土曜日)に参加し地域清掃に取り組んだ。
また、これまでのケアホーム利用者と地域の方との共同清掃活動を、こっからの仲間全員(参加希望者を毎回募る)が関わることになり交流が広がった。(毎月第三火曜日14時から1時間)。
- ②人権学習等のレポーターや講師を派遣した。
- ③こっから横の休耕地をお借りし、仲間の取り組みとして野菜作りを行った。

10. 設備改修

- ネット環境整備 ■非常灯・誘導灯 改修 ■災害時用備蓄品及び書類等保管倉庫 設置

■ここに／すたあと事業報告

1. 施設の概要

- ① 設置主体 社会福祉法人こぶしの会
 ② 施設名 ここに／すたあと
 ③ 所在地 奈良市古市町2159-4 / 奈良市出屋敷町140-2
 ④ 開設日 平成23年6月1日
 ⑤ 施設種別 就労継続支援B型
 ⑥ 定員 20名
 ⑦ 建物等 ここに 113.24㎡(1階木造平屋建て)
 すたあと 79.48㎡(2階木造合金メッキ鋼板葺き)
 ⑧ 作業内容 ここに⇒野菜等の販売、ジャムの素材下処理および仕入れ販売、惣菜等製造販売
 すたあと⇒軽作業、施設外就労
 ⑨ 施設職員 ここに 常勤正規2名 非常勤3名
 すたあと 常勤正規2名

2. 利用者の状況

- ① 利用者数 ここに 9名(男性5名/女性4名)
 (3月末時点) すたあと 6名(男性2名/女性4名)
 ② 平均年齢 ここに 37.2歳(28歳～61歳)
 すたあと 39歳(30歳～52歳)
 ③ 障害手帳 ここに 療育手帳A(1名)/B(7名) 精神保健福祉手帳 3級(1名)
 すたあと 療育手帳A(3名)/B(2名) 精神保健福祉手帳 2級(1名)
 ④ 居住地 ここに 奈良市(9名) すたあと 奈良市(5名)、生駒市(1名)
 ⑤ 通所方法 単独通所
 ⑥ 労働時間 9:30～16:00
 ⑦ 給料 日給制 2,000円 1,500円 1,000円 800円 600円 400円 屋外作業手当(200円/回)
 平均工賃14,506円/月 (前年度比97%)
 賞与(年間2ヶ月支給)
 ⑧ 行事 季節ごとに実施 ※別紙参照
 ⑨ 負担金 実費負担/食費、旅行積み立て、自治会費
 ⑩ 自治会活動 毎月1回の全体会

3. 施設運営

- ・13年間に渡る無認可小規模作業所運動の実践を基礎に、地域に根ざした施設運営をめざす
- ・どんなに重い障害があっても「働く」と人間的に発達することを大切にし、すべての障害のある人たちの権利保障をめざし活動する
- ・障害のある人の生活支援を通じて、誰もが安心して豊かに暮せる地域づくりをめざす

4. 利用実績

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月
営業日数	21	18	22	22	20
登録者数	15	15	15	15	15
総利用者数	263	261	293	292	248
1日平均利用数	12.5	14.5	13.3	13.3	12.4
	9月	10月	11月	12月	1月
営業日数	22	23	20	20	19
登録者数	15	15	15	15	15
総利用者数	282	309	251	256	253
1日平均利用数	12.8	13.4	12.6	12.8	13.3
	2月	3月	平均		
営業日数	20	25	21.0		
登録者数	15	15	15.0		
総利用者数	260	317	273.8		
1日平均利用数	13.0	12.7	13.1		

4月27日～5月24日を施設休所とし、仲間の在宅ワーク支援とした。
 休所期間中は、家族と過ごすことが難しい仲間の受け入れを行った。
 5月最終週は、分散通所。休所期間中の仲間給料は一律4,000円とした。
 6月1日からは、通勤通学ラッシュを避けるため短縮開所として再開した。

5. 補助・助成事業

- イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンにより、日用品を購入した。□
- きょうされん
- 新型コロナウイルス緊急対応支援事業により、353,000円
- ICT導入のため、95万円の助成があり、パソコン、タブレットを購入。

6. 事業活動

就労支援事業

	ここに・すたあと合計
事業収入	5,406,997
前年度比	127.0%
材料費	2,899,996
前年度比	125.9%
労務費	2,656,150
経費	398,598
収支差額	-547,747

7. 見学・研修

施設見学・研修

日付	来所者	人数
10/16	利用希望者見学(ここに・すたあと)	2
	利用希望者見学(ここに)	3
合計		5

8. 行事等

各月行事・イベント

	内 容
4月	
5月	
6月	
7月	ここに／般若寺散策、すたあと／男女別お買い物
8月	コーヒーやブドウで染物体験
9月	オリジナルマイカップづくり、ここに市準備
10月	フラワーアレンジメント
11月	
12月	信楽旅行
1月	
2月	ペーパーエコバック&キーホルダーづくり、ここに市準備
3月	観梅 大和民俗公園、親孝行支援

体験・実習

日付	来所者	人数
2/25.26 3/1	つなぎより体験実習(3日間)	1
合計		1

施設(内外)研修

日付	研 修 名	備 考
8/29	法人全体研修	施設内
10/2	きょうされんオンライン研修② アフター企画	施設外
10/24	憲法カフェ	施設外
11/7	未公開映像とともに「夜明け前」を語る	施設外
11/21	社保協講演「コロナ禍の経験を踏まえ、社会保障政策の転換を」	施設外
11/23	介護保障ネット講演「あたりまえの生活を実現するために」	施設外
12/5	法人全体研修	施設内
12/11	きょうされんオンライン研修④ アフター企画	施設外
12/12	JD40周年 オンライン集会	施設外
12/19	こぶしの会新人研修	施設外
12/19	きょうされん近畿北陸ブロック研修	施設内
12/20	ゲノム編集会議研修	施設外
12/24	こぶしの会フォローアップ研修	施設内
1/13	「ひとりぼっちを作らない社会づくり」講演	施設外

9. 地域との連携

- ・自治会主催の町内清掃に参加した
- ・グリーンサポートの会合で、感染対策を万全にし会場を提供した。
- ・コロナの影響で、東市まるごと子どもフェスタ、椿祭は中止
ここに市でのマッサージ、生花教室も中止

■ふゆーちゃー事業報告

1. 事業所の概要

- ① 設置主体 社会福祉法人こぶしの会
- ② 事業所名 (1) ケアホーム春日苑
(i) 共同住居すまいる
(ii) 共同住居ひまわり
(iii) 共同住居ぐうぐうハウス
(2) すまいる(短期入所)
(3) 支援センターふゆーちゃー
- ③ 所在地 (1) 奈良市古市町93-1
(i) 共同住居すまいる 奈良市古市町93-1
(ii) 共同住居ひまわり 奈良市古市町1846-80
(iii) 共同住居ぐうぐうハウス 奈良市古市町2139-41
(2) 奈良市古市町93-1
(3) 奈良市古市町529-1
- ④ 施設種別 (1) 共同生活援助(包括型)
(2) 短期入所事業
(3) 居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援(奈良市、御所市)
- ⑤ 定員 (1) 22人
令和2年9月 定員変更 12人→22人
(2) 4人
(3) 定員はなし
- ⑥ 職員 33人(常勤専任1人、常勤兼任10人、非常勤22人)

2. 利用状況

- ① 利用状況
共同生活援助

月毎延利用			
令和2年4月	271人日	令和2年10月	436人日
令和2年5月	258人日	令和2年11月	406人日
令和2年6月	269人日	令和2年12月	451人日
令和2年7月	273人日	令和3年1月	451人日
令和2年8月	265人日	令和3年2月	415人日
令和2年9月	344人日	令和3年3月	516人日

居宅介護・移動支援・行動援護

年間述べ件数

44件

3. 事業所の運営

- ① 運営の概要
- (1) 令和2年9月共同住居すまいるを建設し共同住居定員10名定員増とする
令和2年9月新規入所者9名契約(男性4人、女性5人)
令和2年11月新規入所者1名契約(男性1人)
令和3年1月共同住居ぐうぐうハウス(奈良市古市町2139-31)の賃貸契約を解消し、
購入し自己所有物件とする。
- (2) 新令和2年9月型コロナウイルス感染拡大により短期入所事業を受入れを停止。
- (3) 奈良市、御所市において、居宅(共同生活住居含)における 居宅介護、行動援護、
移動支援の実施

■こぶしの会相談支援センター 事業報告

1. 事業の概要

- ① 施設名 こぶしの会相談支援センター
- ② 所在地 奈良市古市町529-4
- ③ 開設日 平成26年9月1日
- ④ 事業種別 指定計画相談支援 障害児相談支援
- ⑤ 職員 1名

2. 相談支援活動の概要

登録86人 内訳:児童16人、成人70人 児童:小学3人、中学7人、高等部6人 こぶしの会所属55人、地域31人

3. 利用実績

(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計画相談	6	3	7	9	19	6
モニタリング	22	21	15	17	14	17
児童	5	6	6	6	7	9
成人	23	18	16	20	26	14
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画相談	16	9	7	4	8	0
モニタリング	15	15	17	20	20	24
児童	5	7	9	4	5	6
成人	26	17	15	20	23	18
	合計	H27	H28	H29	H30	R元
計画相談	94	64	47	60	90	68
モニタリング	217	69	130	168	179	208
児童	75					79
成人	236					227

登録86人 内訳:児童16人、成人70人 児童:小学3人、中学7人、高等部6人
こぶしの会所属55人、地域31人